



問 公共施設に自動販売機の設置を求める

答 11施設に設置する方向で進めたい

公明党 岡崎 悟 議員

議員 村は、節電とライフスタイルの転換を目的に掲げ、公共施設から自動販売機を撤去した。その結果は、村の考えとは異なったように思う。村内の自動販売機は、さらに増えたように感じる。これ以上増やさないためには、排除するのではなく、連携と協力が必要である。自動販売機の公共施設への設置は、業者と連携して、地域貢献が図れる取り組みの物を求める。また、村全体では、設置台数を減らすことを目標に、早い時期の設置を求める。

副村長 平成23年9月に、公共施設のほぼすべての自動販売機を撤去してから、述べ8回にわたり、各議員から質問を頂いた。先の第1回定例議会でも、総合政策部長が「方向性が決まったら、スピード感を持ってや

るよう指示する」と答弁したところである。協議の結果、基幹避難所である「各コミュニティセンター」「総合体育館」「総合福祉センター」などは、避難所としての機能の強化を目的に、また、スポーツ施設である「スイミングプラザ」「テニスコート」「阿漕ヶ浦公園」においては、熱中症予防を目的に、合計11施設に自動販売機を設置する方向で進めたい。



問 観光資源の活用と特産品のPRを積極的に行う

答 観光資源の整備とふるさと納税の活用を図る

新公会 吉田 充宏 議員

議員 東海十二景は、東海村の素晴らしい景観にもかかわらず、「見てください、寄ってください」という、『おもてなしの気持ち』が見えない。案内地図も略図で現地に行けない場所もあるし、基幹道路沿いに案内看板がなく、十二景に行っても他の十二景の案内もない。環境整備を行う必要がある。

副村長 東海十二景は美しい景観であり、貴重な自然・観光の資源である。環境を整備していく。

議員 ふるさと納税の実績を見る限り、精力的に募集しているようにには思えない。ふるさと納税は財政を増やすだけでなく、納税者に特産品をプレゼントすることにより、東海村の特産品をPRできる絶好の機会と捉えるべきである。見解を伺う。



東海十二景の一つ「細浦青畝」